

吉本有里さんとの出会い、そしてミニ CD 制作へ

6年余り前、駒ヶ根の美しい風景に魅せられて東京から移住し、半年後に駒ヶ根駅傍に一人サロンの美容室をオープン。誰一人、知人のいない地での開店で集客に苦労。この地域での交流を求めて、あるイベントに参加・出展。そのイベントでのメインが“吉本有里さん”のコンサートでした。

全く予期せずにそこで聞いた有里さんの透き通るような綺麗な歌声と「美しい自然環境の中でのこだわりのない愛に溢れて自然体で生きる」のメッセージソングに私はすっかり魅了され、“この駒ヶ根に凄いシンガーソングライターがいる”と感動しました。そしてファンになり、コンサートに足を運びました。

美容師としてのサロンワークの傍ら 25 年間、私は日本全国の大勢の仲間と共に地球環境浄化プロジェクトの活動をしています。有里さんのコンサートで歌を聴く度に、これを「仲間にも聴かせたい・有里さんの透き通った声で環境浄化のメッセージを多くの人たちに届けたい。」その思いを有里さんに伝え、趣旨に沿った曲作りを依頼しました。

しかしながら、有里さんの曲作りは、自然に湧き上がってくるメロディーやフレーズをもとに作るので環境浄化をテーマにしたものは無理との当然の答。なす術もなく時が経ちさらにコロナ禍の始まりで諦めの境地でした。

そのさなか今年の春、(株)環境保全研究所が光触媒を使用する「珊瑚再生方法」の発明が特許を取得。世界中の珊瑚が白化現象で絶滅に瀕する中での快挙に、発明者の同社の西銘生義会長は詩を詠みました「蘇える 珊瑚花道 海の森」これを詠んだ途端ピンときて「この詩からのイメージで、有里さんに曲作りして貰えるかも知れない」と。そして、この詩がきっかけとなり、次から次へと奇跡が起きて今回のミニ CD 制作に至りました。

さっそく行動開始。超多忙な有里さんは一応、曲作りを引き受けてくれたものの、いつ出来上がるか分からないとの返事。完成は半年後でも1年後でも構わないからと依頼しました。

最初の奇跡は有里さんに起こりました。何と翌日、曲が出来たとの連絡が入り、びっくり仰天!!嘘!!何で??有里さん曰く、「帰り道から曲と歌詞がドンドン湧き上がってきて自分の仕事が手につかない。うるさくてしょうがないから先に作ってしまった。」と。

翌日、出来上がった曲“珊瑚花道”を披露しに店に来ていただくことになり、次の奇跡が今度は私に起きました。1 曲より 2 曲にしたい!もう一つ、珊瑚再生に寄与し環境浄化する光触媒配合の石けん、泡おもいのことを曲にしてもらいたい!それには有里さんに私の想いを伝えなくては。泡おもいのイメージが分かるように!と手元にあった A4 用紙へ思いつくままにフレーズをメモし始めた途端、シャワーのごとくフレーズが降り注ぎ、あっという間に A4 用紙はいっぱいに!この作詞原案から“ミラクルソープ物語”の曲が誕生したのです。

せっかく出来た 2 曲。まずは“珊瑚花道”のもととなった詩の作者、西銘会長に聴いてもらいたいとチャンスをうかがっていた時、またもやの奇跡!!

西銘会長は日本全国で地球環境浄化プロジェクト講演会を行っていましたが、たまたま長野県諏訪市での講演会が急なコロナ禍蔓延で会場閉鎖となり、急遽、会場が私の地元、駒ヶ根に変更。これも奇跡です!講演

会の合間に有里さん自ら、会長にこの 2 曲を直接披露することが出来ました。それも偶然、前夜、有里さん宅を訪れた太田ひろし氏がキーボード伴奏で同行してくれて、より完成度の高い曲の演奏となり会長の心を打つ奇跡が起こり、CD を発売する事に至りました。

しかしながら音楽の世界とは無縁の人間がいきなり CD 制作という無謀なことをやろうとしたのです。結局、CD 制作の知識皆無の私は企画しただけで、作詞作曲を依頼した有里さんに全てをお任せして完成に至った次第です。今回私は CD 制作というチャンスの中で多くを学ばせていただき、プロとして一切の妥協を許さない姿勢を貫く有里さんに深く感動し、感謝しています。

今後は、この CD を通じて多くの方にトリニティーゼットや泡おもいを知っていただき、ビーワン・トリニティーの素晴らしさが伝わるキッカケ作りになればと願っています。

さらに今回、誕生した 2 曲に、既に存在している有里さんの代表曲を加えて、日本全国で有里さんのコンサートを開催し、その素晴らしい歌声とメッセージに乗せて、地球環境浄化プロジェクトの一助とするのが私の夢でありライフワークです。(手始めに、今年の 10 月 17 日(日)地元・駒ヶ根にて、珊瑚再生プロジェクトの一環として「セーブ ザ リーフ」ドキュメンタリー映画上映会と、吉本有里さんのコンサートを準備中です。)

2021 年 8 月
シェリオンBS企画 伊藤恭子